

2020.3.1発行
 かのん町保育園

少しずつ暖かくなる季節になりました。子ども達も4月から1つお兄さんお姉さんになる喜びを、それぞれに感じているようです。この1年で大きく成長した子どもたちの姿に、頼もしさを感じています。

《3月3日は耳の白》

ちょっとした不注意が、中耳炎・外耳炎の原因になることもあります。日ごろから気をつけるようにしましょう。

◎耳あかの除去方法

お風呂上りに、耳の入り口を一回転させましょう。
 耳あかを押し込んでしまうので、奥まで綿棒を入れるのは控えましょう。

＜耳を大切にするために気を付けるポイント＞

- ・耳を爪で引っかいたり、強く引っばったりしない
- ・耳あかがたまっていないか、こまめにチェック
- ・鼻をかむときは、片方ずつ静かに
- ・耳のそばで、大きな音や声を出さない



◎子どもの耳の病気に注意しましょう。



[急性中耳炎]

耳と鼻は繋がっています。風邪などをきっかけに、細菌が鼻から中耳(鼓膜の奥)に入り炎症を起こした状態です。病院で処方される抗生物質で治します。

こんな時は注意です！

- ・耳を痛がる
- ・機嫌が悪い
- ・耳だれがある
- ・耳をよく触る
- ・微熱が続く
- ・耳を触られるのを嫌がる
- ・どろっと黄色い鼻水が続いている

☆花粉症について



花粉症とは、花粉やタニ、ハウスダストが原因となり引き起こされるアレルギー性鼻炎の1つです。

- 目の症状・・・充血、かゆみ、涙が出る、腫れ
- 鼻の症状・・・鼻水、くしゃみ、かゆみ

花粉症の症状は目と鼻の2種類。人によっては、症状が現れるのが鼻だけだったり、目だけだったりします。また、目と鼻の症状に伴い、頭痛が起こったりぼーっとしたりすることもあります。

アレルギーに対する薬を症状の出る季節の前から服用すると、花粉の季節になっても軽く済みます。症状がひどい場合は、受診しましょう。

[新型コロナウイルス感染症の予防対策について]

- ◎こまめに手を洗う
- ◎マスクを着ける
- ◎よく眠り、バランスよく食べる

規則正しい生活を心がけ、対策をしましょう！

～今年度の事故報告～

今年度2月までの受診の必要があった事故は、20件でした。事故内容としては、バランスを崩して転倒し、頭部や額を打撲したり、上唇小帯を切ったりする怪我が多くありました。また、友達との関わりの中でのひっかき傷や職員の不注意による怪我もありました。川崎市にも受診したケースの事故報告はしています。また、事故検証と改善策を導き出し、再発防止に努めています。特に転倒が原因となっていたので、日々の保育の中で全身を動かす遊びを意識的に取り入れ子ども達の体づくりに取り組みました。職員の不注意による怪我については、特に重く受け止め、細心の注意を払って保育していかれるよう心がけています。

2月の感染症情報

インフルエンザA型	2名
インフルエンザB型	6名
溶連菌感染症	2名



3月号

・耳の日

3月3日は耳の日です。ちょっとした不注意が、中耳炎・外耳炎の原因になることもあります。日ごろから気をつけるようにしましょう。

耳をつめで引っかいたり、強く引っばったりしない



耳あかがたまっていないか、こまめにチェック



鼻をかむときは、片方ずつ静かに



耳のそばで、大きな音や声を出さない

・花粉症について

抗アレルギー剤を症状の出る季節の前から服用すると、花粉の季節になっても軽く済みます。症状がひどい場合は、医師に相談してみてください。

目の症状・・・充血、痒み、涙が出る、

鼻の症状・・・鼻水、かゆみ



花粉症の症状は目と鼻の2種類。人によっては、症状が現れるのが鼻だけだったり目だけだったりします。また、目と鼻の症状に伴い、頭痛が起こったりぼーっと





◎虫歯が出来るわけ
どうしてできるの？

虫歯菌が作るネバネバの歯垢の中に、同じく虫歯菌が作る乳酸がたまり、歯が溶かされていく、これが虫歯のメカニズムです。

★痛くて動かせない

歯髄腔に虫歯菌が到達すると熱い物がしめると自然にズキズキ痛み始め、やがて歯髄が死んでしまふ(壊死)と一時的な痛みは場合によっては脱きゅうや骨折歯の根元を支える骨まで炎症が広がり、歯茎が腫れたり、ひどくなると頬や首の根元も腫れたし、全身の健康状態も悪化します。**皮膚の色が変わってくる**



★指先が曲がったまま

指を伸ばす腱が切れているか、骨折をしている可能性が。動かさないようにして、必要なら割りばしなどで固定し、歯が溶かされていく、これが虫歯のメカニズムです。整形外科へ。

◎虫歯菌はどこからやってくる？

★変形している

虫歯菌を多く持っている人と、全く持っていない人がいる。患者の口移しや哺乳瓶の乳首を交換しての試み、スプーンや箸で伝播し、自然に歯が溶かされていく、これが虫歯のメカニズムです。

伝播しやすい時期は子どもの虫歯(乳歯)が生え始めから生えそろった生後 19 ヶ月から 31 カ月の間と言われています。

①患部を確認

子どもが痛がらない程度に、そっと動かしながら、どこが脱きゅうしているか、確認をする。しろうと判断で無理に関節を入れたりせず、病院へ。

「プライベートゾーン」について

②添え木で固定

「プライベートゾーン」は、脱きゅうした関節がはみ出しても触らせてもいい場所、自分で動かさないように、添え木で固定する。水着を着る時、包帯を巻いて固定。



そのため友達同士にも触らせたりしてはいけません。

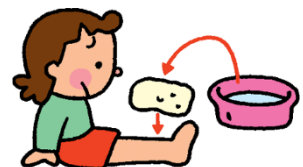
プライベートゾーンを見たがったり、触れたがったりする人、

③冷やす
冷水で湿らせたタオルや保冷パックなどを当てて、痛みを和らげながら病院へ。



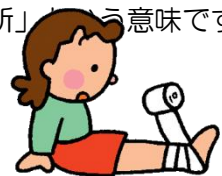
①まず冷やす

患部を動かさないようにして、冷水で湿らせたタオルや保冷パックで冷やす。



②患部の固定

「プライベートゾーン」は、自分で動かさない場所、自分で動かさないように、添え木で固定する。水着を着る時、包帯を巻いて固定。痛みが続く場合は、包帯の上から氷のうや保冷パックなどで冷やす。



③患部を高くして安静に

冷やしたまま、患部を高くして安静にしていると楽になる。



らせようとしたりする人がいたら、すぐにその場を立ち去ることを教えましょう。

プライベートゾーンは大事な場所だから見たがったり、触りたがったりする人は変な人です。どんなに優しくしても絶対に見せたり触らせてはいけません。

(また「自分でも人に見られないように注意してね」と言うと、人前で無防備に着替えたり、だらしない格好をしたりするのが、良くないことなのだとい子にもわかるはず)

泥んこ遊びなども注意

女児は特に、泥んこ遊びなどでも気をつけましょう。お尻をついて遊ばないように指導します。

プライベートゾーンが大切な場所と知らせることに合わせて、綺麗に保つ場所なんだということもわかってもらいましょう。

排尿排便時の始末の仕方も同じ意味で正しく指導しましょう。

(触ってはいけない場所だけれども、「プライベートゾーン」は汚いとか隠す場所という捉え方ではありません)

プライベートゾーンは自分で守り、また他人からも尊重される場所として覚えてほしいものです。

「あなたには大切な部分があって、それは自分で守って行くものだよ」と知らせて行くことで、自分を大切にするのは自分であることを理解して行くのだらうと思います。

